

5つの自由	具体項目	現状	目標(概ね1年以内の実現を目標)	目標(継続取り組み)
①飢えと渇きからの自由	(1) 動物が、きれいな水をいつでも飲めるようになっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 種豚、仔豚:井戸水(飲用可) 肥育:水道水 給水器のチェック 		
	(2) 動物が、健康を維持するために栄養的に十分な食餌を与られていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 仔豚、肥育:吸収の良い加熱飼料(クランブル)、非遺伝子組み換え、収穫後農薬不使用(PHF) 仔豚、肥育:発育に応じた段階的な飼料変更 種豚:ボディコンディションスコアにより適正な給餌管理を実施 給餌器のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 配合飼料以外に栄養バランス向上を狙い野菜などを与える 種豚:背脂肪厚測定器による給餌管理の正確化 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて配合設計の見直しを実施し趣向性など、より豚の健康につながる飼料設計とする
	(3) 動物は、適切な環境下で飼育されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 種豚:0.6m×1.8m/頭 分娩:3.84㎡/頭 仔豚:0.4㎡/頭(全面スノコ式) 肥育:1.0㎡/頭以上(発酵床) 強制換気豚舎には停電時と異常温度による通報装置を設置 種豚、仔豚:ファン、ヒーター、温水湯たんぽ、クーリングパッド 肥育:細霧、ファン、発酵熱による保温 		
②不快からの自由	(4) その環境は、常に清潔な状態が維持されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> オールインオールアウト 豚房の洗浄、消毒、乾燥、石灰塗布 	<ul style="list-style-type: none"> 防疫ルールの明確化と農場内防疫体制の強化 	
	(6) その環境に怪我をするような鋭利な突起物や危険物はないですか？	<ul style="list-style-type: none"> 飼育環境のチェック 		
	(7) その動物に休息場所がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 哺乳仔豚:保温箱 		
③痛み、傷、病気からの自由	(8) 動物は、痛み、外傷、あるいは疾病の兆候を示していませんか？もしそうであれば、その状態が、診療され、適切な治療が行われていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 日々観察し必要に応じて個別治療を実施 管理獣医師指導のもとワクチンや使用薬剤の検討を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 成績データを活用した管理品質向上 豚の状態に合わせたより綿密な管理を行い、使用薬剤を極力減らす
	(10) 動物は、正常な行動を表現するための十分な広さが与えられていますか？作業中や輸送中の場合、動物が危険を避けるための機会や休息が与えられていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 肥育:広めの発酵床により適度な運動、穴を掘る、剪定枝を食むなどの正常行動が可能 仔豚:スノコ豚舎にチェーンなどにより遊具を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送中のストレスを極力減らすため、生体の積み込み～屠場搬入までを原則3時間以内とする 	
④正常行動発現の自由	(11) 動物は、その習性に応じて、群れあるいは単独で飼育されていますか？また、離すことが必要である場合には、そのように飼育されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 種豚:未経産豚は分娩前一月まで群飼育 肥育、仔豚:体調不良の豚は群から隔離し治療、飼育 		
	(9) 動物は恐怖や精神的苦痛(不安)の兆候を示していませんか？もし、そのような兆候を示しているなら、その原因を確認できますか？その兆候をなくすか軽減するために的確な対応がとれますか？	<ul style="list-style-type: none"> 去勢7日齢までに実施(感染症予防のため抗生物質を併用) 断尾7日齢までに実施(感染症予防のため抗生物質を併用) 抜歯7日齢までに実施(感染症予防のため抗生物質を併用) 個体識別:未実施 生体の移動に痛みを伴う道具を使用しない 生体の扱い方を評価項目へ組み込み問題がある場合に是正 環境変化のストレスの重複を避ける 	<ul style="list-style-type: none"> 去勢3日齢までに実施(感染症予防のため抗生物質を併用) 断尾3日齢までに実施(感染症予防のため抗生物質を併用) 廃止 	